

令和5年度岐阜県DX推進コンソーシアム  
デジタル化推進度アンケート調査 結果  
報告書(概要版)

2023/9/12

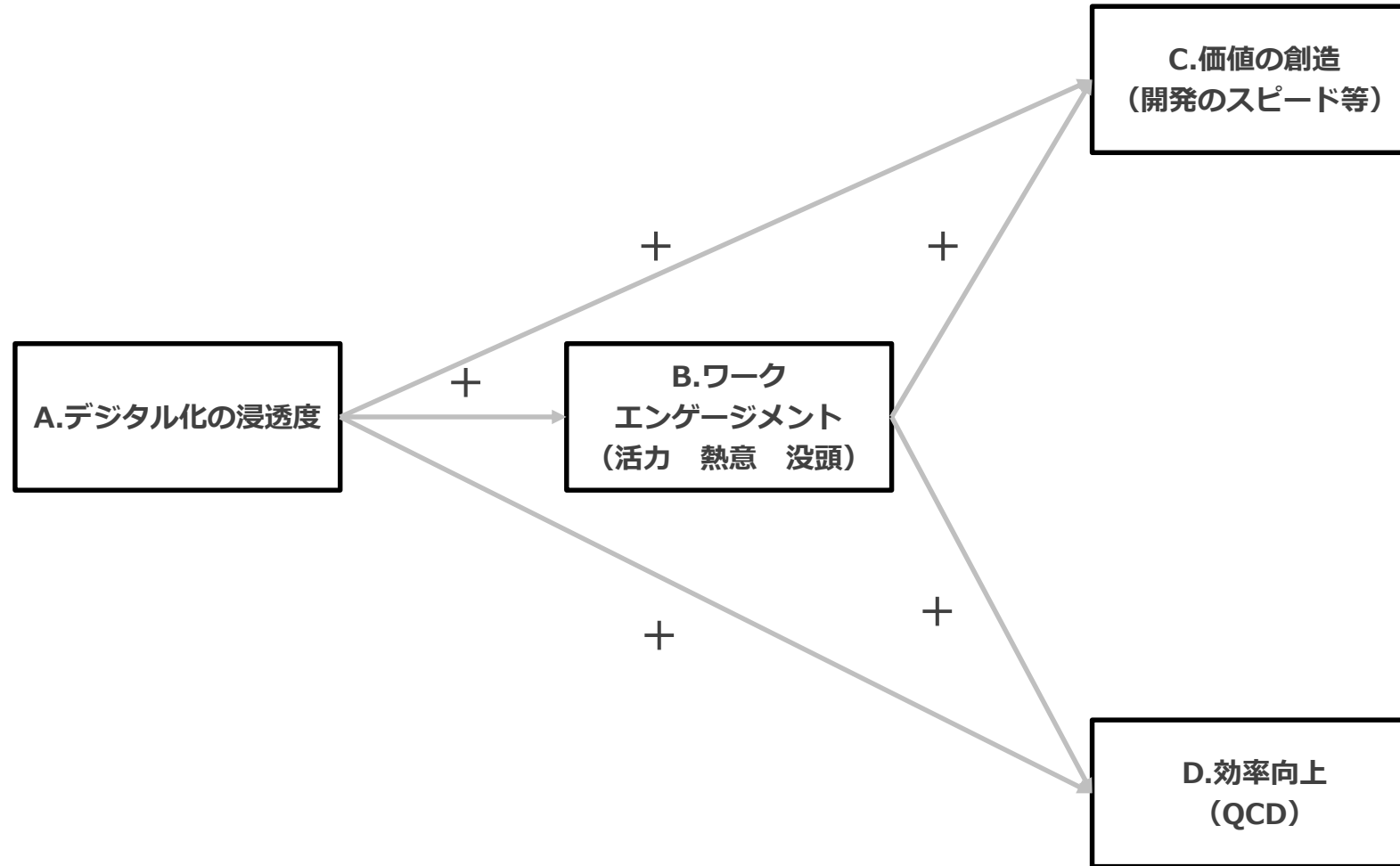
岐阜県DX推進コンソーシアム事務局

# 調査概要

---

- 趣旨
  - 令和5年度に実施するDX人材養成研修のカリキュラム等研修内容に会員企業の取組事例を参考することを目的にアンケートを取得する。
- 調査対象：岐阜県DX推進コンソーシアムの一般会員222者
- 有効回答数：109件
- 調査期間：令和5年6月23日～令和5年7月7日
- 調査方法：オンラインアンケート：インターネット経由でフォームに入力する形態で取得

# デジタル化とワークエンゲージメント 価値の創造、効率向上との関係性 仮説モデル



# 質問項目

1	A	デジタル化の浸透度	新しいデジタル技術を導入するための予算が容易に確保できる
2	A	デジタル化の浸透度	社内のデジタル化を推進するチームが気軽に支援してくれる
3	A	デジタル化の浸透度	デジタル化を促進するためのトレーニングや教育が充実していない(*)
4	A	デジタル化の浸透度	自分達はITツールを使うための割と高いITリテラシー(用語、操作、能力)を持っている
5	A	デジタル化の浸透度	社内の仕事をデジタル化することに反対する人はほとんどいない
6	B	エンゲージメント(活力)	仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる
7	B	エンゲージメント(活力)	職場では、元気が出て精力的になるように感じる
8	B	エンゲージメント(熱意)	自分の仕事に、意義や価値を大いに感じる
9	B	エンゲージメント(熱意)	自分の仕事に誇りを感じる
10	B	エンゲージメント(没頭)	仕事をしていると、他のことはすべて忘れてしまう
11	B	エンゲージメント(没頭)	仕事をしていると、つい夢中になってしまう
12	C	付加価値の創造	アイデアを出す機会が増え、アイデアの具現化がスピードアップしていると感じる
13	C	付加価値の創造	私の感覚だと組織全体の意思決定のスピードが早くなっている
14	C	付加価値の創造	新たな商品開発や新たなサービスの企画・開発に時間が費やされる時間が増えたように感じる
15	C	付加価値の創造	市場のニーズや顧客満足度をより早く知ることができている
16	D	QCD(効率化)	会議、報告などの段取り作業が多くなっていると感じる(*)
17	D	QCD(効率化)	品質、コスト、納期などが徐々に改善されている
18	D	QCD(効率化)	コミュニケーションや情報共有の質と量が改善されている
19	D	QCD(効率化)	作業の進捗状況やタスクの優先順位付けなど仕事が円滑に進むようになった

それぞれの設問について、5段階でどの段階と思われるかを回答下さい。

- 1: 強くそう思う
- 2: そう思う
- 3: どちらでもない
- 4: そう思わない
- 5: 強くそう思わない

(\*)反転項目 回答評価を点数評価に反転 (1→5、2→4、3→3、4→2、5→1)

# 基本集計

有効回答者109名  
※【集計表】

凡例	
A	デジタル化の浸透度
B	エンゲージメント
C	付加価値の創造
D	QCD（効率化）

1 = 低  
5 = 高

全体	人数	A	B	C	D
平均	109	3.17	3.29	3.30	3.24
標準偏差	109	0.71	0.51	0.60	0.54

平均は中央値（2.5）を上回る

業種別	平均値				
	人数	A	B	C	D
製造業	55	3.04	3.18	3.20	3.25
その他	54	3.30	3.40	3.41	3.23
全体	109	3.17	3.29	3.30	3.24

標本の半数は製造業、非製造業のほうが点数は高め

従業員規模別	平均値				
	人数	A	B	C	D
10人未満	23	3.47	3.56	3.61	3.37
10～99人	34	2.92	3.14	3.16	3.25
100～299人	27	3.10	3.22	3.20	3.14
300～499人	10	3.62	3.37	3.25	3.30
500人以上	15	3.09	3.29	3.37	3.17
全体	109	3.17	3.29	3.30	3.24

デジタル化の浸透度は10～99人規模の企業が低い傾向

職位別	平均値				
	人数	A	B	C	D
経営層	42	3.29	3.42	3.47	3.35
マネージャー	52	3.13	3.22	3.22	3.24
一般	14	2.96	3.12	3.13	2.95
准教授	1	3.00	4.00	3.00	2.75
全体	109	3.17	3.29	3.30	3.24

回答者は経営層とマネージャで約90%

補助金活用別	平均値				
	人数	A	B	C	D
活用したことがある	42	3.07	3.23	3.42	3.32
活用したことがない	58	3.21	3.30	3.23	3.18
わからない	9	3.33	3.52	3.25	3.31
全体	109	3.17	3.29	3.30	3.24

全体の38%が補助金を活用したことがあると回答

# 回帰分析

有効回答者109名

※【集計表】

※E-08→マイナス1×0.1の8乗

	仮説(分析内容)	説明変数	目的変数	標本数	R <sup>2</sup> : 決定係数	R: 相関係数	P値(有意F)	評価	評価内容
1	デジタル化の浸透度→エンゲージメント	A. デジタル化の浸透度	B.エンゲージメント	109	0.243405594	0.493361524	5.019E-08	◎	かなりの正の相関関係(1%有意)***
1①	デジタル化の浸透度→活力	A. デジタル化の浸透度	活力	109	0.150535446	0.387988976	3.066E-05	◎	かなりの正の相関関係(1%有意)***
1②	デジタル化の浸透度→熱意	A. デジタル化の浸透度	熱意	109	0.160675572	0.400843575	1.566E-05	◎	かなりの正の相関関係(1%有意)***
1③	デジタル化の浸透度→没頭	A. デジタル化の浸透度	没頭	109	0.191038331	0.437079319	2.015E-06	◎	かなりの正の相関関係(1%有意)***
2	デジタル化の浸透度→付加価値の創造	A. デジタル化の浸透度	C.付加価値の創造	109	0.233644821	0.483368204	1.016E-07	◎	かなりの正の相関関係(1%有意)***
3	デジタル化の浸透度→QCD (効率化)	A. デジタル化の浸透度	D.QCD (効率化)	109	0.279570555	0.528744319	3.423E-09	◎	かなりの正の相関関係(1%有意)***
4	デジタル化の浸透度→パフォーマンス	A. デジタル化の浸透度	パフォーマンス (C. 付加価値の創造 + D.QCD (効率化))	109	0.327397103	0.572186248	8.053E-11	◎	かなりの正の相関関係(1%有意)***
5	エンゲージメント→付加価値の創造	B. エンゲージメント	C.付加価値の創造	109	0.254426403	0.504406981	2.242E-08	◎	かなりの正の相関関係(1%有意)***
6	エンゲージメント→D.QCD (効率化)	B. エンゲージメント	D.QCD (効率化)	109	0.238353206	0.488214303	7.236E-08	◎	かなりの正の相関関係(1%有意)***

デジタル化とエンゲージメント、デジタル化と付加価値の創造、デジタル化と効率化は正の相関関係がみられる

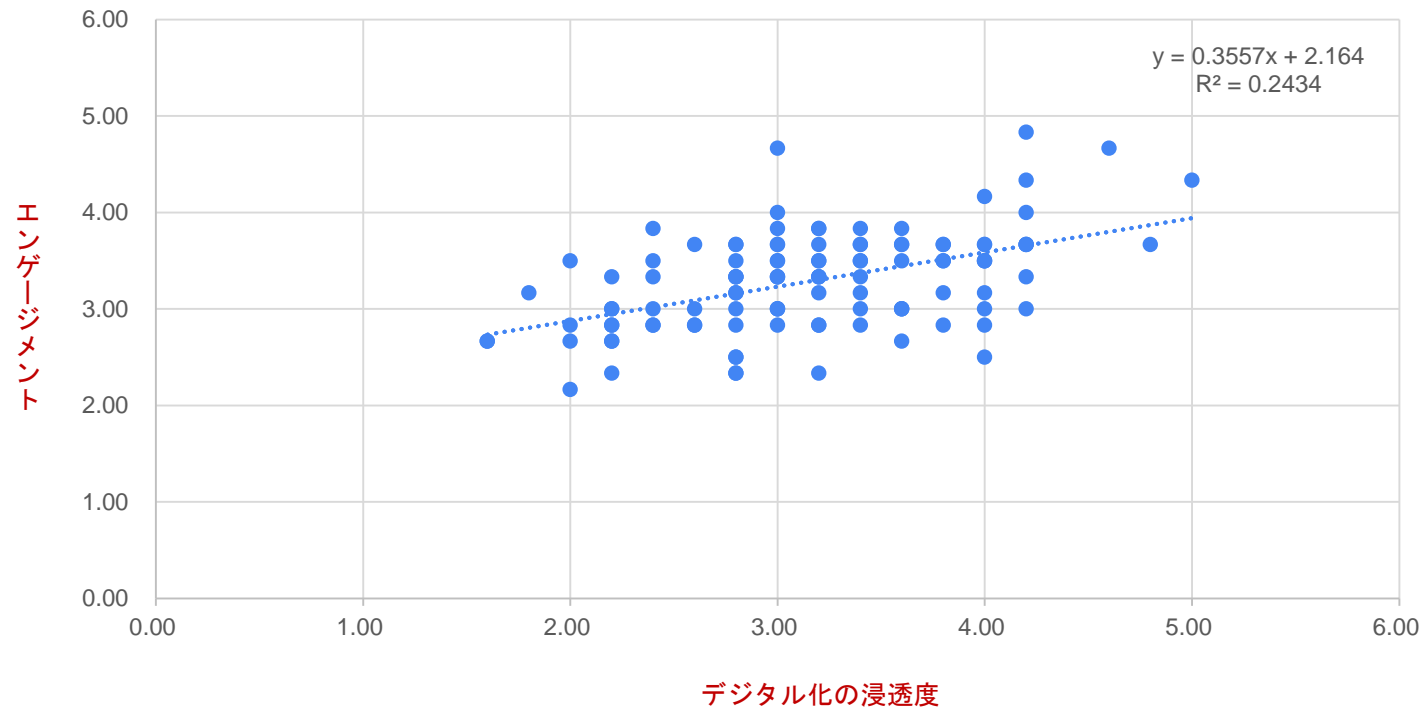
# 各変数の相関関係

## 1. 説明変数

## 目的変数

A. デジタル化の浸透度 → B. エンゲージメント

デジタル化→エンゲージメント



かなりの正の相関関係がある  
相関係数 **0.49**  
(1%有意)

- 相関係数R : 0.49
- 決定係数 $R^2$  : 0.24
- P : 5.019E-08 < 1%

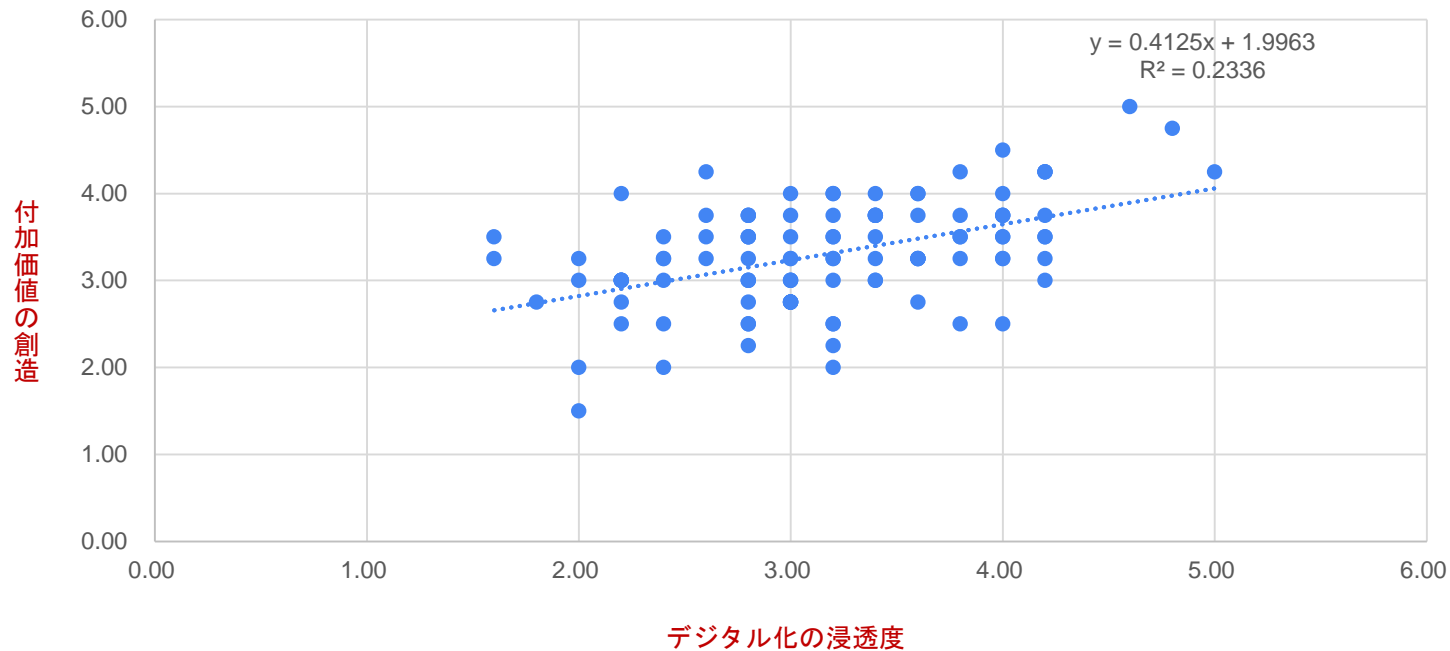
# 各変数の相関関係

## 2. 説明変数

## 目的変数

A. デジタル化の浸透度 → C. 付加価値の創造

デジタル化の浸透度→付加価値の創造



かなりの正の相関関係がある  
相関係数 **0.48**  
(1%有意)

- 相関係数R : 0.48
- 決定係数 $R^2$  : 0.23
- P : 1.016E-07 < 1%



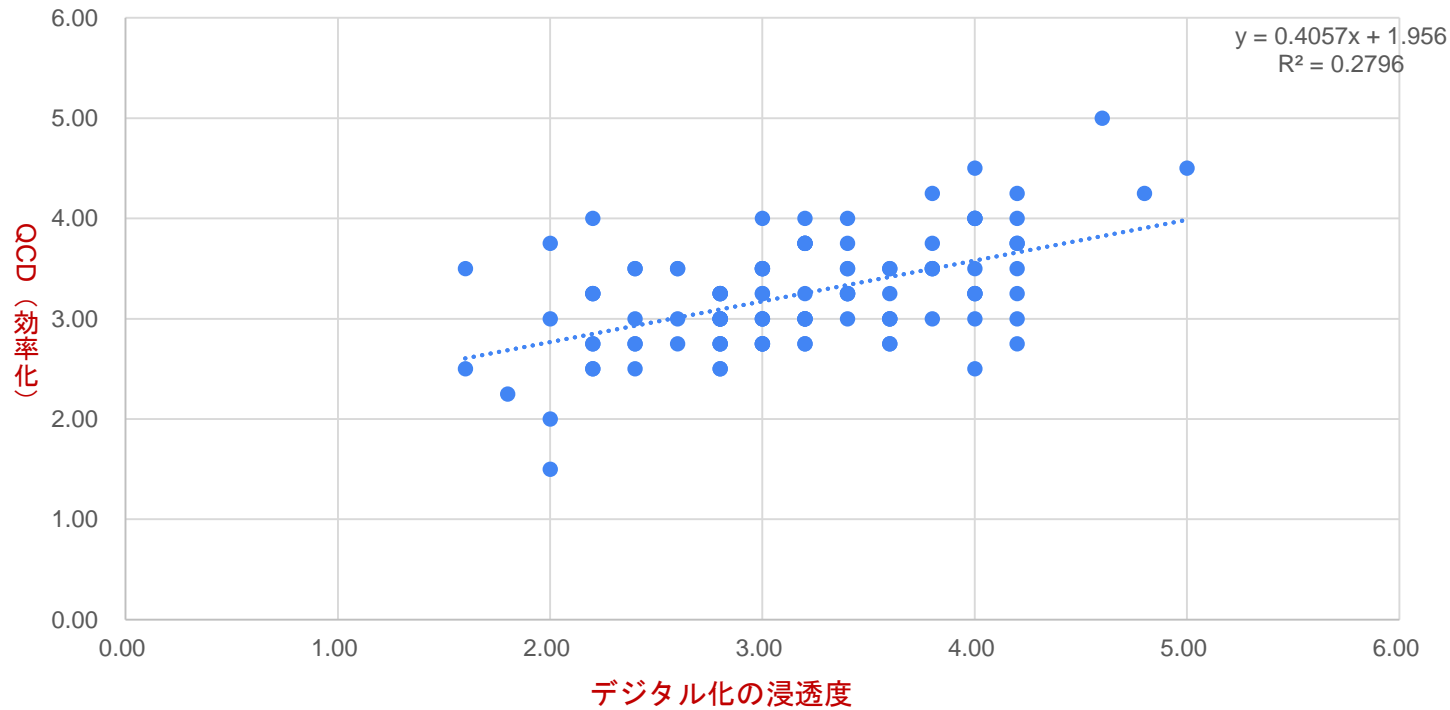
# 各変数の相関関係

## 3. 説明変数

## 目的変数

A. デジタル化の浸透度 → D. QCD(効率化)

デジタル化→QCD（効率化）



かなりの正の相関関係がある  
相関係数 **0.53**  
(1%有意)

- ・相関係数R : 0.53
- ・決定係数 $R^2$  : 0.28
- ・P : 3.423E-09 < 1%

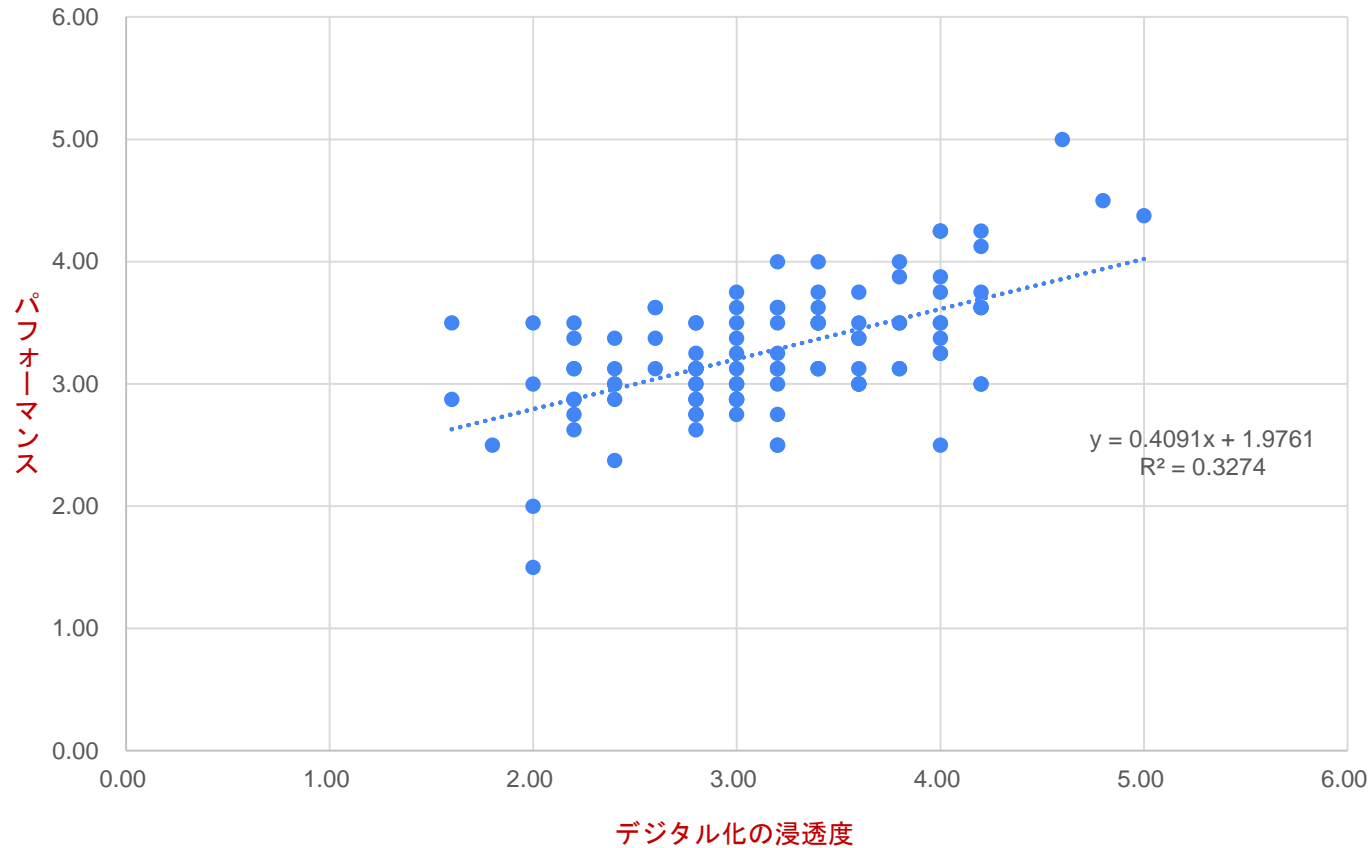
# 各変数の相関関係

## 4. 説明変数

## 目的変数

A. デジタル化の浸透度 → パフォーマンス (C + D:付加価値 + 効率化)

デジタル化→パフォーマンス (付加価値+QCD)



かなりの正の相関関係がある  
相関係数 **0.57**  
(1%有意)

- 相関係数R : 0.57
- 決定係数 $R^2$  : 0.33
- P : 8.05E-11 < 1%

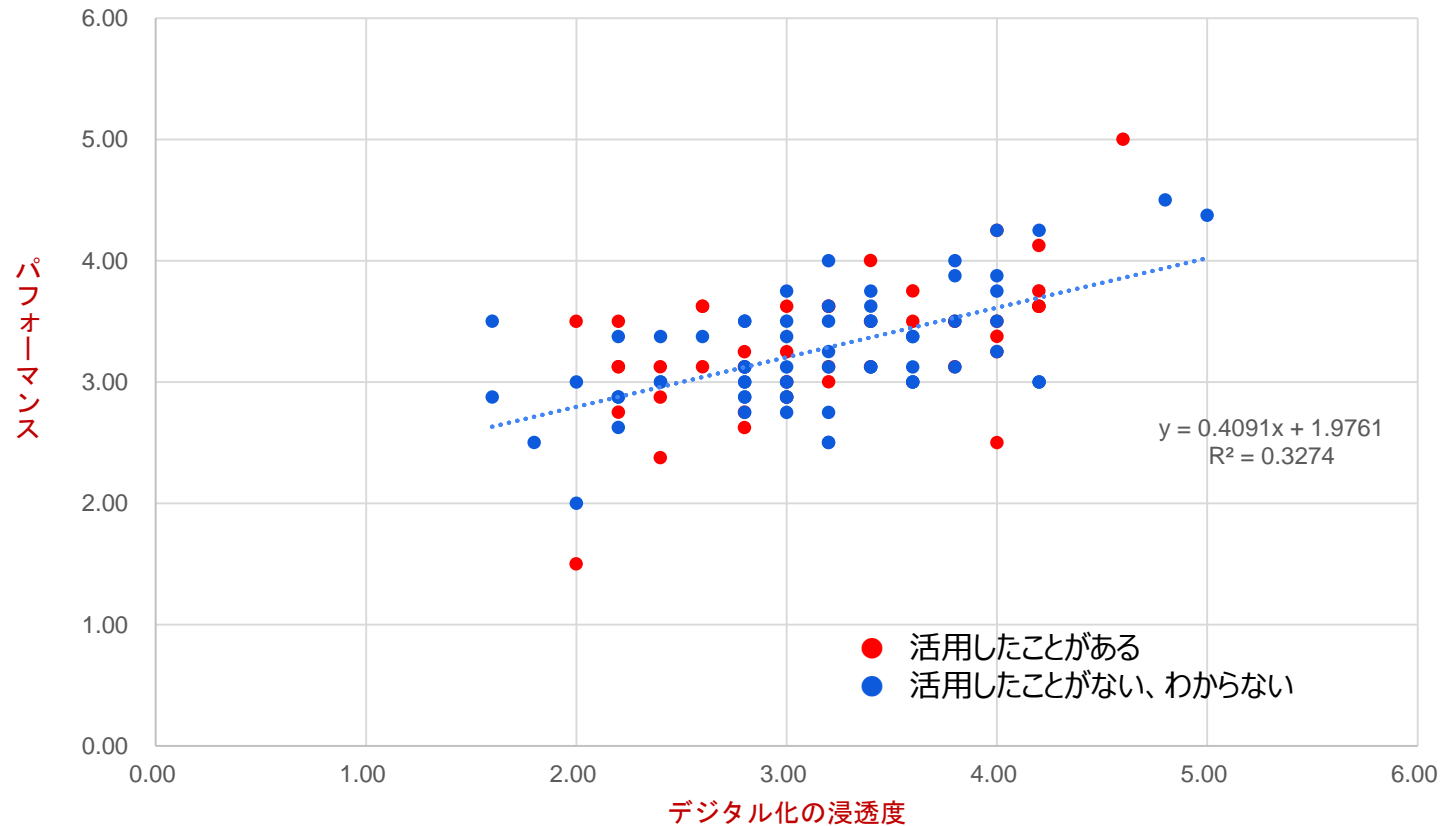
# 各変数の相関関係（補助金活用有無）

## 4-2. 説明変数

## 目的変数

A. デジタル化の浸透度 → パフォーマンス（C + D:付加価値+効率化）

デジタル化→パフォーマンス（付加価値+QCD）平均  
【補助金活用有無】



かなりの正の相関関係がある  
相関係数 0.57  
(1%有意)

- ・相関係数R : 0.57
- ・決定係数 $R^2$  : 0.33
- ・P : 8.05E-11 < 1%

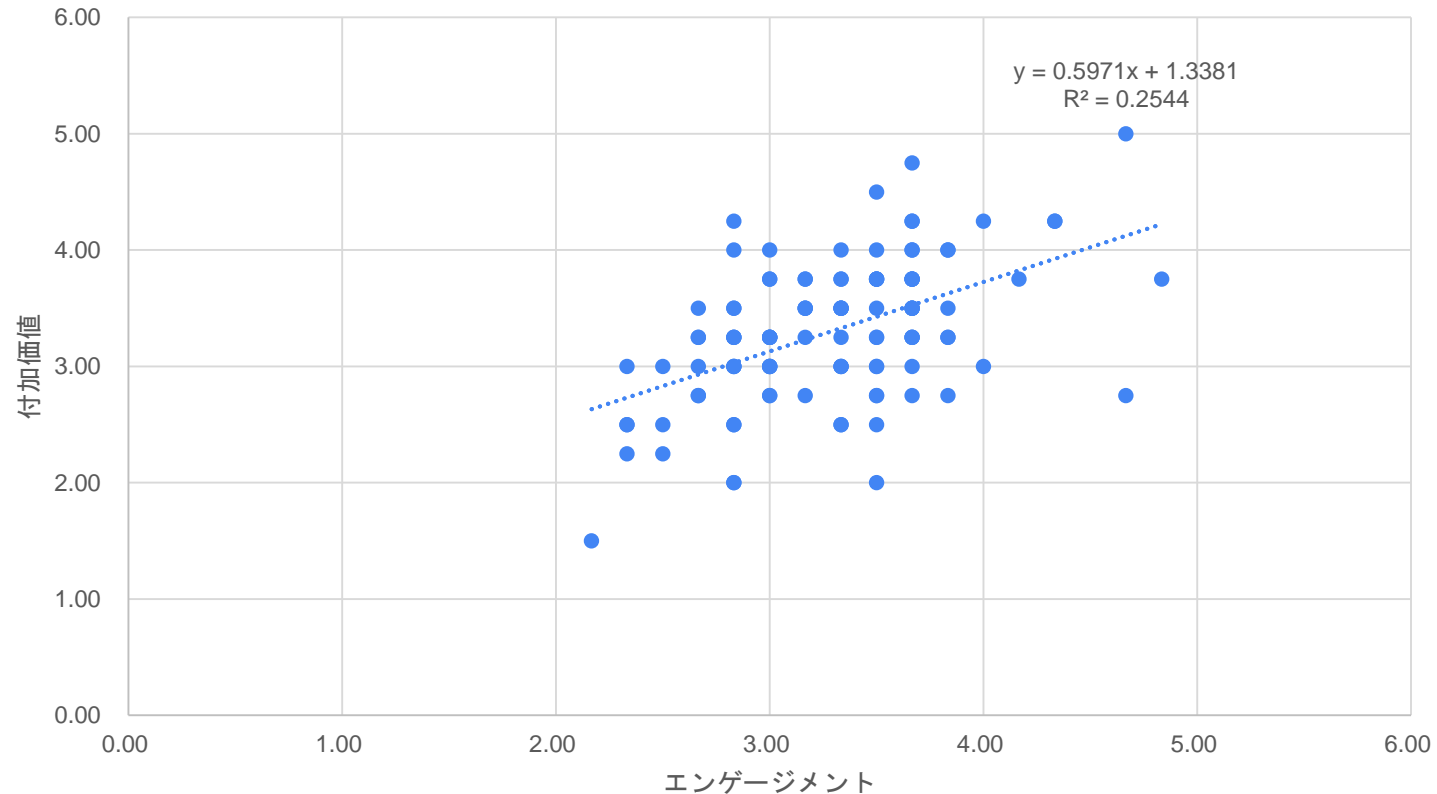
# 各変数の相関関係

## 5. 説明変数

## 目的変数

B. エンゲージメント → C. 付加価値の創造

エンゲージメント→付加価値



かなりの正の相関関係がある  
**相関係数 0.50**  
(1%有意)

- 相関係数R : 0.50
- 決定係数 $R^2$  : 0.25
- P : 2.242E-08 < 1%

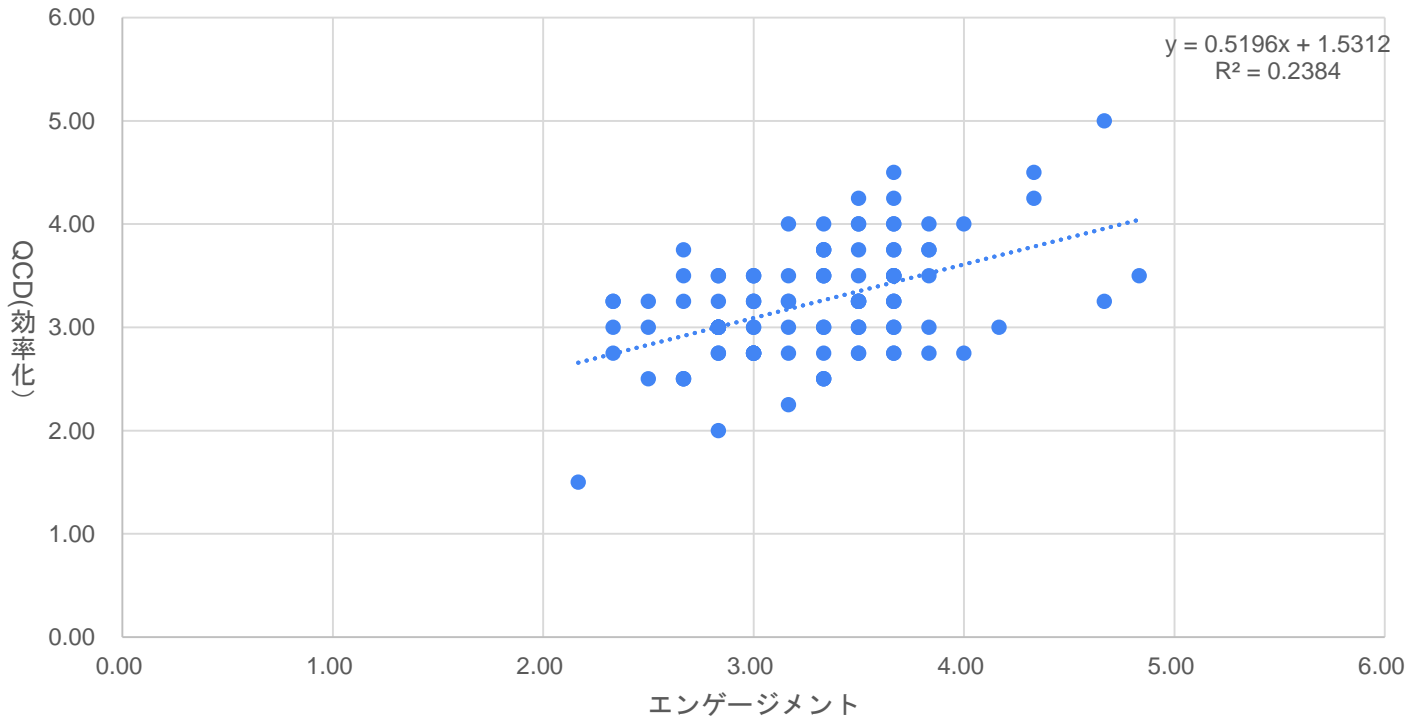
# 各変数の相関関係

## 6. 説明変数

## 目的変数

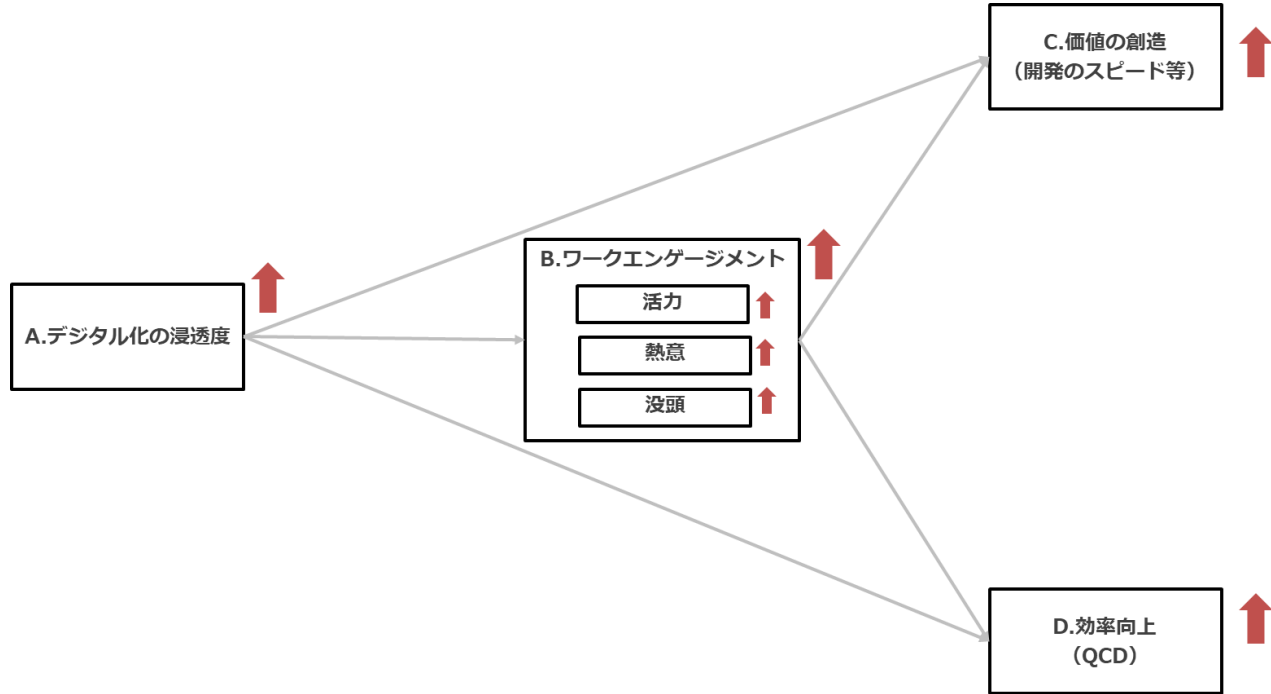
B. インゲージメント → D. QCD(効率化)

エンゲージメント→QCD（効率化）



かなりの正の相関関係がある  
相関係数 **0.49**  
(1%有意)

- 相関係数R : 0.49
- 決定係数 $R^2$  : 0.24
- P : 7.236E-08 < 1%



# 参考（アンケート本文） 1 / 3

## 令和5年度 岐阜県DX推進コンソーシアム デジタル化推進度アンケート

岐阜県DX推進コンソーシアムでは、DX推進の一貫として、DX人材養成のための研修事業を計画しております。会員の皆様の取組を参考にさせていただき様々な視点で調査・分析し、研修など今後の事業に取り入れたいと考えております。皆様には、お忙しいところ恐縮ではございますがアンケートへの協力をお願い申し上げます。

DX推進に取り組まれている関連部署の責任者の方または準ずる方にご回答をお願いいたします

◆回答期限 7月7日（金）までに入力をお願いします。

※回答は、岐阜県DX推進コンソーシアムで使用し、第三者に提供することはありません。ただし、企業を特定できない形式に統計処理された情報は、一般に公開する可能性があります。

gifuiot01@gmail.com [アカウントを切り替える](#)

共有なし

\* 必須の質問です

I. 企業名等（事業者名または団体名等）\*

回答を入力

II. 所属部署と役職\*

回答を入力

IV. 御社の業種について\*

	製造業	情報通信業	建設業	運輸業	小売・卸売	サービス業	その他
業種	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

V. 御社の従業員数について（法人登録上の数等）\*

- 10人未満
- 10～99人
- 100～299人
- 300～499人
- 500人以上

VI. ワーキンググループ事業費補助金事業の活用について\*

- 活用したことがある
- 活用したことがない
- わからない

VII. ご協力いただいた企業様には、アンケート結果等DX人材養成等に関する詳細な情報を提供させていただきます。情報をご希望される場合はメールアドレスを記入下さい。

回答を入力

# 参考（アンケート本文） 2 / 3

◆ここからは御社の「DX推進」に対して5段階評価でご回答ください◆

※設問は全部で19問あります

それぞれの設問について、御社の組織としてや、御社の社員について5段階でどの段階と思われるかご回答下さい。

- 1：強くそう思う
- 2：そう思う
- 3：どちらでもない
- 4：そう思わない
- 5：強くそう思わない

1. 我々では新しいデジタル技術を導入するための予算の確保が容易である\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

2. 我々では「品質、コスト、納期」などが徐々に改善されている\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

3. 社員は自分の仕事に誇りを感じている\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

4. 我々は市場のニーズや顧客満足度を早く知ることができている\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

5. 最近、会議、報告などの段取り作業が多くなっていると感じる\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

6. 社員は、仕事をしていると、活力がみなぎるように感じている\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

7. 社内の仕事をデジタル化することに反対する人はほとんどいない\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

8. 社員は、自分の仕事に、意義や価値を大いに感じている\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

9. 社員は、職場では、元気が出て精力的になるように感じている\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

10. 社内でデジタル化を促進するためのトレーニングや教育が充実していない\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答

11. 社内のデジタル化を推進するチームが気軽に支援してくれる\*

1.強くそう思う 2.そう思う 3.どちらでもない 4.そう思わない 5.強くそう思わない

回答



# 参考（アンケート本文） 2 / 3

12. 社員は、仕事をしていると、つい夢中になってしまう\*

1.強く思う  
う 2.そう思う  
3.どちらで  
もない 4.そう思わな  
い 5.強くそう思  
わない

回答

13. 社内で新たな商品開発や新たなサービスの企画・開発に時間が費やされる時間が増えたように感じる\*

1.強く思う  
う 2.そう思う  
3.どちらで  
もない 4.そう思わな  
い 5.強くそう思  
わない

回答

14. 個人的な感覚だと組織全体の意思決定のスピードが早くなっている\*

1.強く思う  
う 2.そう思う  
3.どちらで  
もない 4.そう思わな  
い 5.強くそう思  
わない

回答

15. 作業の進捗状況やタスクの優先順位付けなど仕事が円滑に進むようになった\*

1.強く思う  
う 2.そう思う  
3.どちらで  
もない 4.そう思わな  
い 5.強くそう思  
わない

回答

16. 社内でのコミュニケーションや情報共有の質と量が改善されている\*

1.強く思う  
う 2.そう思う  
3.どちらで  
もない 4.そう思わな  
い 5.強くそう思  
わない

回答

17. 社員は、仕事をしていると、他のことはすべて忘れてしまう\*

1.強く思う  
う 2.そう思う  
3.どちらで  
もない 4.そう思わな  
い 5.強くそう思  
わない

回答

18. 我社は、ITツールを使うための割と高いITリテラシー（用語、操作、能力）を持っている\*

1.強く思う  
う 2.そう思う  
3.どちらで  
もない 4.そう思わな  
い 5.強くそう思  
わない

回答

19. 社内でのアイデアを出す機会が増え、アイデアの具現化がスピードアップしていると感じる\*

1.強く思う  
う 2.そう思う  
3.どちらで  
もない 4.そう思わな  
い 5.強くそう思  
わない

回答

アンケートのご協力ありがとうございました。最後に、岐阜県DX推進コンソーシアムに期待されること、ご意見・ご要望も含めて何かございましたらご記入ください。

回答を入力